

2024 年 11 月 15 日  
野村資産形成研究センター  
研究員 藪内大助

## 1 万人アンケートに見る転職希望者の分析

前回コラムに引き続き、今回も昨年実施の「ファイナンシャル・ウェルネス（お金の健康度）2023」<sup>\*1</sup>のアンケート結果からの分析をお伝えします。

今回は転職希望を持つ人についてです。

まずは[前回の分析](#)の延長となりますが、転職希望を持つ人の割合とエンゲージメントとの関係进行分析してみます。

なお、アンケートでは「あなたは今の勤務先の社員であることを誇りに思いますか。」と訊いており、本コラムではこれに対する回答をエンゲージメント状況として捉えています。

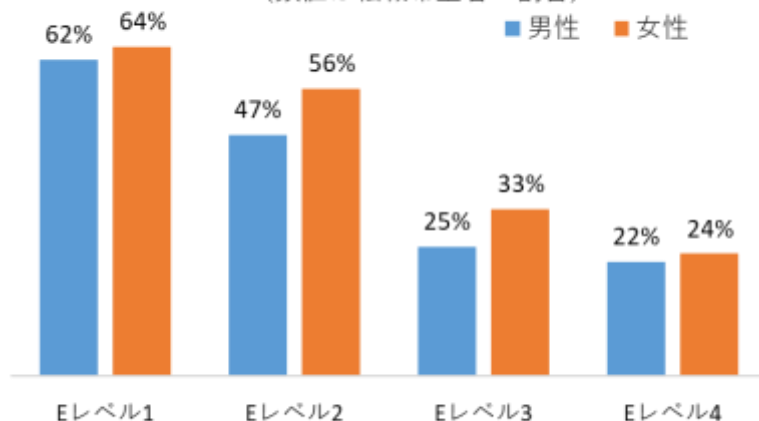
また、下記グラフ（図1）の「Eレベル」とは「エンゲージメント・レベル」を略したもので、その数値が低いほどエンゲージメント・レベルが低いことを表しています。

ご覧の通り、

- 男女比較すると総じて女性の方が転職を希望する割合が高い
  - エンゲージメント・レベルが低いほど転職を希望する割合が高い
- ということがわかります。

図1：転職希望とエンゲージメントの関係

（数値は転職希望者の割合）



\*Eレベル：数字が小さいほうがエンゲージメント度合いが低い

このレポートは、資産形成に関する参考情報の提供を目的に作成されたもので、投資勧誘を目的としていません。また、レポートの内容については万全を期しておりますが、記載されている全ての情報の正確性及び完全性等を保証するものではありません。このレポートのいかなる部分も野村資産形成研究センターに帰属しておりますので、電子的か機械的かまたはその他のいかなる方法であるかを問わず、どのような目的でも無断で複製または転送等を行なわないようお願いいたします。

次は、転職希望を持つ人の割合を自社の福利厚生制度に対しての不満の有無および性別・年代別で分析したグラフ（図 2-1、図 2-2）になります。

図2-1：福利厚生制度不満者と転職希望（男性）

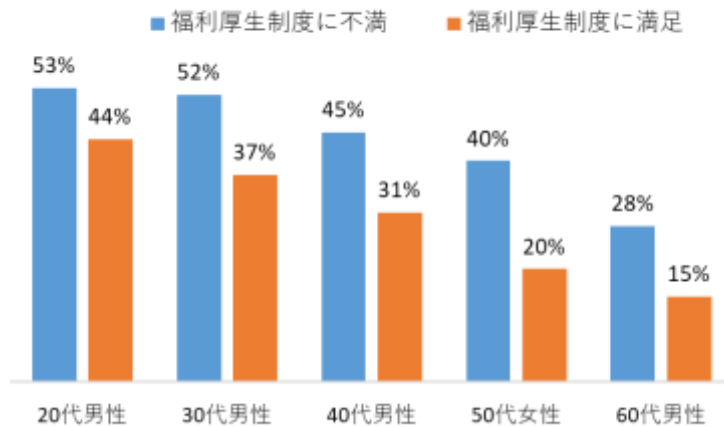
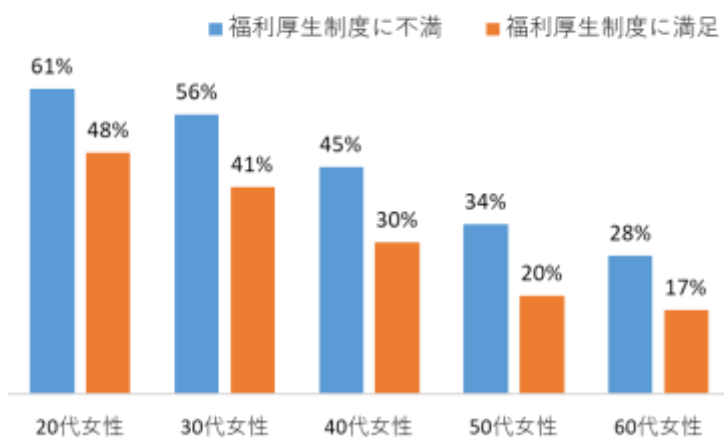


図2-2：福利厚生制度不満者と転職希望（女性）

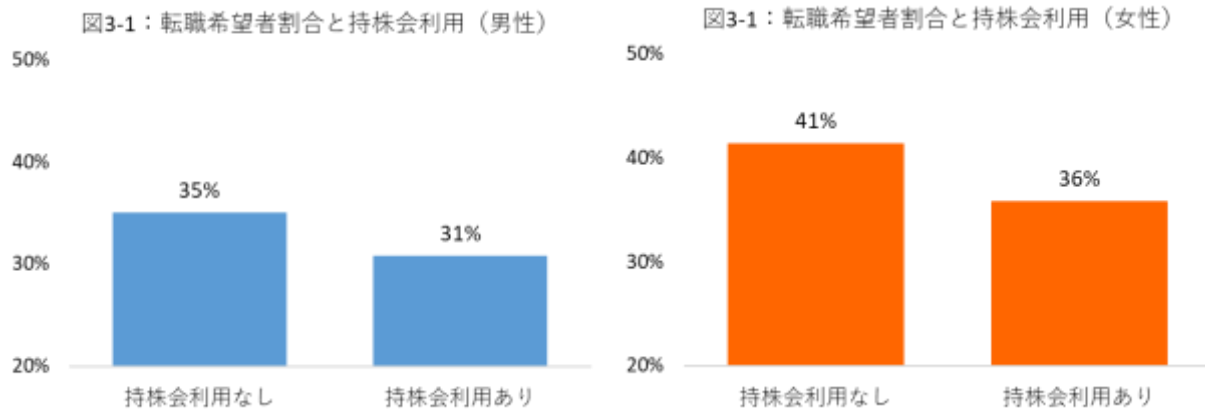


ここでは、

- 男女共に、年代と転職希望を持つ人の割合は反比例している
- 自社の福利厚生制度について不満を持っている人は、性別・年代別共に、福利厚生制度に満足している人よりも転職希望を持つ人の割合が高い

ということが見て取れます。

最後に、持株会利用と転職希望者の割合（図 3-1、図 3-2）について見てみます。



ご覧の通り、

- 持株会加入者の方が男女共に転職希望者の割合が少ないということがわかります。

ここまですと、

- 男女比較すると総じて女性の方が転職を希望する割合が高い
- エンゲージメント・レベルが低いほど転職を希望する割合が高い
- 男女共に、年代と転職希望を持つ人の割合は反比例している
- 自社の福利厚生制度について不満を持っている人は、性別・年代別共に、福利厚生制度に満足している人よりも転職希望を持つ人の割合が高い
- 持株会加入者の方が男女共に転職希望者の割合が少ないということになります。

以上より、従業員が満足する福利厚生制度の充実や理解の浸透、持株会への加入推進等が離職防止の補助となり、従業員のエンゲージメントにも寄与する可能性があると言えるでしょう。

\*1 ファイナンシャル・ウェルネス（お金の健康度）アンケート

調査方法：WEB アンケート

調査期間：2023 年 10 月 3 日（火）～2023 年 10 月 13 日（金）

調査対象（回答者数）：従業員数 1,000 人以上の上場会社従業員（11,052 名）